

“痴漢”被害

“激減”

「ヘルプアプリMimosa」に入力するだけで「送受信可能」です。



# 元警察官「無料アプリ」を提供

埼玉新聞

2024年(令和6年)1月14日(日曜日)



スマートフォンに表示された「ヘルプアプリMimosa」



商品化した「ヘルプアプリMimosa」をアピールする茂木修代表(右)とトリプルアイズの山田雄一郎代表(左)。本庄市の「ほにぼんプラザ」

## 本庄「子供110番ハウス」開発

弱者救済のシステム開発と販売を営む本庄市千代田1丁目、「子供110番ハウス」の茂木修代表76が、痴漢行為をしている犯罪者に知られず、同じアプリを登録している近くの他人のスマートフォン(以下スマホ)に告知して助けを求める痴漢撃退アプリ「ヘルプアプリMimosa(ミモザ)」を考案、商品化した。「一人でも多くの人に使ってほしい」と呼びかける。(新井千昌)

## 犯罪者に知られず痴漢撃退

### 他人のスマホアプリで周知

「イオーエス」を使用し、無料で使える。2月上旬までには別のソフト「Android(アンドロイド)」でも使えるようにしていく。埼玉県警の警察官だった茂木さん。福岡県警鉄道警察隊のアンケート調査で71%の女性が被害に遭っても恥ずかさやその怖さなどで声が出せずに何もできずにいたことを知った。主な発生場所は駅や電車内で、被害者の7割以上が16歳〜24歳の学生だつ

た。そこで、多くの人が利用しているスマホのアプリを使つた痴漢撃退に取り組んだ。若い女性の心情に寄り添って開発したのが特徴。個人情報報のやむとのもなくタウンロード後、すぐ使える。メッセージは満員電車でも1車両内、見通しの良い場所では約100メートル、他人のスマホから近くで助けを求めています。現行犯は誰でも逮捕できます」という音声の流れで痴漢行為を告知する。マナーモードにしても届く。受信者が「ヘルプ」を押し返すと、発信した被害者のスマホからも音声が出る。警視庁が開発したアプリは、被害者のスマホから音声が行くため被害者が声を上げているのと同じになって使えないという。茂木さんのアプリは、音声の重複で周りに被害者と分ならず、安心して利用ができる。周りにアプリ登録者がいないと効果がない。今後は通学時間が同じ学校ぐるみ、地域でも登録していく。問い合わせは、同ハウス(0495・27・6887)。

## 立ち上がれ「本気」で痴漢対策！

～学校毎のアプリ入力(点)から、全国の学校(線から面)に広げよう～

このアプリ(ヘルプアプリMimosa)は痴漢被害にあつて「声も出せず何も出来ない」71%の被害者を救う「弱者救済アプリ」です。

現在のアプリ提供は「ios」のみに限定

子供110番ハウス(有)  
367-0054  
埼玉県本庄市千代田1-1-28  
TEL 0495-27-6877  
FAX0495-21-1101  
携帯 090-8810-5707